

公益社団法人新潟県介護福祉士会

令和3年度 定時総会資料

1 日 時 令和3年 6月 6日（日曜日）

午前13時30分 開会

2 場 所 新潟市中央区上所2丁目2番2号

新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室

公益社団法人新潟県介護福祉士会

公益社団法人新潟県介護福祉士会
令和3年度 公開講演会・定時総会

開 催 次 第

<日 時> 令和3年 6月 6日(日) 13:30~16:30(予定)

<会 場> 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

<内 容> 公開講演会(13:30~14:30) Zoomオンラインより
講演テーマ 「介護福祉士の役割について」
講演会講師 公益社団法人日本介護福祉士会
会長 及川 ゆりこ 氏

定時総会(14:30~16:30)

1 会長挨拶

2 議 事

- ・議長選出
- ・議事録署名人及び書記選任
- ・定足数報告

3 審議事項

第1号議案 令和2年度 事業報告及び決算書案承認について

第2号議案 役員任期満了における役員改選について

第3号議案 会費に関する規則改正案について

4 報告事項

第1号報告 令和3年度事業計画及び收支予算書について

第2号報告 顧問職選任報告について

5 閉会挨拶

第1号議案

令和2年度 事業報告及び決算書報告について

令和2年度事業報告書及び決算報告書をつぎのとおり作成したので、定款第25条第1号及び第46条第2項に基づいて承認を求める。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表
- (5) 正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録
- (7) 監査報告書

令和3年 6月 6日提出
公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

公益社団法人新潟県介護福祉士会
令和2年度 事業実施報告書

令和2年度 事業活動総括

現下の新型コロナウイルス感染拡大に際し、感染拡大を最前線で予防しながら要介護者等の生活を支えるために、日夜懸命な対応を行っている介護福祉士をはじめとする介護職の皆様に心から敬意と慰労の念を表します。

令和2年度は、「ウィズ・コロナ」という未曾有の難局に直面し、事業自体は円滑に進めることができませんでした。年度初めの各種研修会及び会議、事業は中止または書面決済での対応としました。9月以降については、感染状況を踏まえながら、隨時各関係機関と協議し、「標準感染予防」「新しい生活様式」を取り入れつつ、各種研修会及び会議、事業を行いました。

今後は、コロナ禍においても介護現場における中核的役割を担う介護福祉士の活躍を後押しできる研鑽の場、研究の場を、オンラインや映像コンテンツを活用する等、感染防止策を図りながら事業を展開していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が流行する中、社会を維持していく上で必要な職業である、医療、福祉、小売業、流通、交通、ライフライン等に従事するエッセシャルワーカーとして介護福祉士もその一つと認識され、改めて職業の重要性が認められ、敬意や感謝を伝える動きが広がりました。その声に、私たちは応えていかなければなりません。

福祉人材確保専門委員会の報告書においては、介護人材の中核的役割を担うのは介護福祉士であり、介護職チームリーダーとしての役割を求めることが明示化されました。また、「経験・技能のある介護福祉士」に重点的に、処遇改善が行われました。そして、介護保険制度改革では、サービス提供体制加算において介護福祉士の占める割り合いによって、更に評価される仕組みになりました。

前述のとおり介護福祉士は、質の向上が一層求められていますが、一方では、介護労働に対する社会的評価は十分とはいはず、介護現場における人材不足や後継者育成が大きな課題となっています。

私たち介護福祉士の存在価値は、国民生活を守ることにあり、コロナ禍であっても専門職として安全性をできる限り担保しながら、この役割をしっかりと果たしていかなければなりません。それぞれの立場で、今出来ることを精一杯努力し、この未曾有の難局を乗り越えて参りましょう。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

I 法人の概況

- 1 設立年月日 公益社団法人 平成25年 4月 1日（公益社団移行日）
社団法人 平成17年10月14日（法人設立登記日）
任意団体 平成 5年11月20日設立

2 定款に定める目的

本会は介護福祉士の職能団体として、介護福祉士の向上のための事業を展開することによって、県民に対し介護に関する理解と知識の普及を図り、また、要介護者・その家族・地域等を支援するとともに、介護福祉士の専門性の確立を目指し、もって福祉の増進に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 介護福祉の向上のための調査・研究事業
- (2) 介護福祉に関わる情報を県民に提供するための事業
- (3) 介護従事者等のための相談及び研修等事業
- (4) 介護保険制度をより充実させるための事業
- (5) 介護福祉の援助を必要とする新潟県民の生活と権利擁護に関する制度をより充実させるための事業
- (6) 介護福祉士としての専門性を確立させるための事業
- (7) 介護福祉活動をとおして社会に貢献するための事業
- (8) その他公益目的を達成するために必要な事業

4 所轄官庁に関する事項

新潟県福祉保健部福祉保健課介護人材確保係

5 会員の状況（令和3年3月末日現在の登録会員数）

区分	当期末数	前期末数	前期末比増減
継続会員	1, 287名	1, 354名	-67
新入会員	40名	40名	±0
合計	1, 327名	1, 394名	-67
賛助会員	12名	15名	-3

6 主たる事務所の状況

〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL 025-281-5531 FAX 025-281-7710

HP <http://www.kaigo-niigata.or.jp> メール kaigo@sage.ocn.ne.jp

7 役員等に関する事項（令和3年3月末日現在 内・外役員50字音順）

	理事氏名（ふりがな）	現職等
1	入山 八江（いりやまやえ）	新潟県栄養士会 前会長
2	川合 千尋（かわいちひろ）	新潟県医師会 副会長
3	熊倉 範雄（くまくらのりお）	新潟県手をつなぐ育成会 副理事長
4	光村 利寛（こうむらとしひろ）	新潟県老人クラブ連合会 会長
5	佐々木 勝則（ささきかつのり）	新潟県介護支援専門員協会 会長
6	等々力 務（とどりきつとむ）	認知症の人と家族の会新潟県支部 副代表
7	亡 遁所 直樹（とんどころなおき）	
8	中川 泉（なかがわいづみ）	常磐大学 看護学部 教授
9	中野 正昌（なかのまさあき）	新潟県老人福祉施設協議会 理事
10	星井 勝博（ほしいかつひろ）	新潟県社会福祉士会 会長
11	秋山 武司（あきやまたけし）	新潟県介護福祉士会 副会長
12	大井 秀行（おおいひでゆき）	新潟県介護福祉士会 副会長
13	大越 幸栄（おおこしゅきえ）	新潟県介護福祉士会 理事（上越ブロック長）
14	菊池 美恵子（きくちみえこ）	新潟県介護福祉士会 理事（佐渡ブロック長）
15	関 好子（せきよしこ）	新潟県介護福祉士会 理事（中越ブロック長）
16	田辺 妙子（たなべたえこ）	新潟県介護福祉士会 理事
17	中村 和弘（なかむらかずひろ）	新潟県介護福祉士会 副会長
18	西本 圓（にしもとまどか）	新潟県介護福祉士会 副会長
19	樋口 和磨（ひぐちかずま）	新潟県介護福祉士会 理事
20	樋口 美和子（ひぐちみわこ）	新潟県介護福祉士会 理事（下越ブロック長）
21	宮崎 則男（みやざきのりお）	新潟県介護福祉士会 会長
22	山田 美恵（やまだみえ）	新潟県介護福祉士会 理事
	監事氏名（ふりがな）	現職等
1	神林 輝夫（かんばやしてるお）	神林輝夫税理士事務所 税理士
2	倉茂 浩司（くらしげこうじ）	新潟県介護福祉士会 監事

8 職員に関する事項（令和3年3月末日現在）

区分	性別	勤続年数
常勤職員	男性	9年7ヶ月
常勤職員	男性	9年3ヶ月
非常勤職員（パート6時間）	女性	3ヶ月

Ⅱ 事業の状況

1 事業の実施状況

公益目的事業執行状況

ア 介護福祉の向上のための調査研究事業

令和3年3月に実践報告会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

イ 介護福祉に関する情報を県民に提供する為の事業

本年も新潟県からの委託を受けて、「介護の魅力情報発信事業」を策定している。その一環として、県内の小中高等学校等で「介護の魅力」を伝えるべく学校訪問を実施した。しかし、新型コロナウイルス感染防止のため、開始時期が10月からとなった。ホームページは新たにリニューアルし、見やすさを心がけて随時更新し事業活動の案内を24時間発信している。

○介護の魅力情報発信事業 学校訪問 出前講座

1期 日 令和3年3月末日受託件数 70件

2会 場 県内の小・中・高等学校等

小学校57件、中学校7件、高校3件、支援学校3件

3訪問数 3月末日で70件

3実施内容 「介護・福祉とはなにか」等の講義授業と車椅子体験、高齢者疑似体験等の実技体験（数種類のプログラムから選択協議で実施する）

○ホームページによる広報活動

1公開期間 24時間対応

2内 容 多様な事業案内や報告、会員相互の交流の場としての情報発信源となることを目指している。また、各種新規情報の掲載における更新作業は広報担当者と隨時協議・連絡し公開している。

○広報誌「かけはし等」の作成発行

1期 日 第51号発行（8月1日）

2内 容 今回は「新型コロナウイルスに負けるな」をテーマに情報提供や会員相互間の交流などの記事を主体に掲載した。

3対 象 正会員、賛助会員及び介護施設へ3,100部

○公開講演会による介護福祉啓発活動

当初計画では下記日程で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

となった。

- 1 開催日 令和2年6月8日（土）14：45～16：15
- 2 場所 長岡市立劇場 大会議室
- 3 講師 森 啓 氏（予定）
- 4 講演内容 「認知症の医療と介護」

ウ 介護従事者等のための相談及び研修事業

介護福祉士や介護職を目指す後継者の育成及び県民への幅広い啓発活動を目的として、国家資格である介護福祉士取得への受験必須要件である実務者研修（通信課程）を実施した。また各種関係機関が主催する講座等に対する講師派遣や福祉用具専門相談員指定講習会等を実施した。しかし多くの研修、講習会等が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期や中止となった。実施する場合も3密対策と定員数減の中で実施した。

○介護福祉士実務者研修（通信課程）

当初5月開講予定であったが7月開講で実施された。

- 1 開催期間 令和2年7月18日から12月27日
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ 各研修室及び介護実習室等
- 3 内容 介護福祉士国家試験（受験必須要件）対策としての講習会
- 4 受講者 9名

○福祉用具専門相談員指定講習会（第1回・第2回）

第1回は当初5月開講予定であったが9月開講で実施された。

- 1 開催日 第1回 令和2年9月19日～10月4日の間 計7日間
第2回 令和3年2月6日～3月7日の間 計7日間
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ 特別会議室、介護実習室、女性財団交流室等
- 3 内容 福祉用具貸与販売事業所において設置義務付けられている相談員養成のための講習会であり、50時間以上の講習が義務付けられている。
- 4 受講者 第1回27名、 第2回19名 修了済

○他団体及び学校事業における介護職員初任者研修事業等への講師派遣

例年依頼を頂いている団体様からの講師派遣等も新型コロナウイルス感染拡大防止から、事業キャンセル、延期、縮小が相次いだ。

1 派遣先機関

- 「新潟県シルバーパートナーネットワーク」
- 認知症サポーター養成講座1コース講師派遣
- 「新潟県社会福祉協議会」
- 新潟県シニアカレッジ（認知症サポーター養成講座）～講師派遣

県民介護（介護技術）～講師派遣
「加茂市社会福祉協議会」 中学生サマースクール講座へ講師派遣

○キャリア形成訪問支援事業

新潟県からの受託事業で例年実施しているが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施時期が新潟県からの指示で10月からとなった。しばらく実施出来ない状態が続いた。

- 1 開催時期 令和2年10月から令和3年3月
- 2 場 所 県内各地（派遣要請事業所にて実施）
- 3 訪問件数 8件訪問済み（13件受託するが感染症予防のため5件キャンセルになる）
- 4 内 容 介護職員向けに各種講師派遣と介護職員の資質向上に向けた研修カリキュラムの提案

○介護出前講座事業

キャリア形成訪問支援事業の代替案として当会独自の事業として友好関連施設等に周知を図って行った。

- 1 開催時期 令和2年6月から令和3年3月
- 2 場 所 事業所、施設から指定される会場にて実施
- 3 内 容 介護職員向けに各種講師派遣と介護職員の資質向上に向けた研修カリキュラムの提案
- 4 実施数 5件受託

○介護に関する入門的研修

新潟県からの受託事業であり、本年も昨年に引き続き実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催スケジュールが延期になり、各地区11月以降の実施となった。

これまで介護と関わりがなかった方を対象に、介護に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、介護業務に携わる基本的な技術等を学ぶものである。県内4地区5会場で開催を実施した。

1 開催日

- 佐渡市会場 11月14日、12月6日、19日、20日
- 上越市会場 11月21日、29日、12月12日、20日
- 長岡市会場 12月5日、6日、19日、20日
- 新潟市会場A 11月23日、28日、12月5日、12日
- 新潟市会場B 1月9日、16日、23日、30日

2 開催会場

- 佐渡市会場→ かないコミュニティセンター（全日）
- 上越市会場→ 上越市民プラザ（全日）
- 長岡市会場→ 長岡介護福祉専門学校あゆみ（全日）

新潟市会場 A・B→ 新潟ユニゾンプラザ（全日）

3 申込者数 157名 修了者数 133名

4 実施内容

介護に関する基礎知識、介護の基本、基本的な介護の方法、老化の理解、認知症の理解、
基本的な介助の方法、障害の理解、介護における安全対策等の21時間講習

エ 介護保険制度等をより充実させるための事業

県内の介護サービス事業所の質の向上を図ることを目的として、高齢者施設や障がい者施設への福祉サービス第三者評価を実施した。同じく、地域密着型サービス事業所（グループホーム）の質の向上を図るべく外部評価を実施した。コロナ禍の影響もあり受審件数が減少している。

○福祉サービス第三者評価 指定評価機関事業

1 受審契約件数 6件 内事業年度内訪問調査件数 3件

2 受審種別 特別養護老人ホーム5件、障害者支援施設1件

○地域密着型サービス外部評価 指定評価機関事業

1 受審件数 グループホーム38事業所

2 既実施事業所数 38事業所

オ 介護福祉の援助を必要とする県民の生活と権利擁護に関する制度を充実させるための事業

県民の権利擁護に関する制度を充実させることを目的として、新潟県社会福祉協議会等の行政機関・福祉団体が開催する協議会、委員会等への委員を派遣している。

1 新潟県 関係

○新潟県介護人材確保対策会議

○新潟県高齢者保健福祉推進協議会

○福祉サービス第三者評価推進委員会

○新潟県肢体不自由児協会評議委員会

2 新潟市 関係

○新潟市在宅医療・介護連携推進協議会

○新潟市介護人材確保対策協議会

○新潟市障がい程度区分認定等審査委員会

3 佐渡市

○佐渡市高齢者等福祉保健審議会

4 新潟県社会福祉協議会関係

- 県社協評議員会
- 県社協企画総合委員会

5 新潟市社会福祉協議会関係

- 新潟市社協評議員会

6 その他県内団体関係

- 新潟県栄養士会食生活学会
- 新潟県老人福祉施設協議会 理事会
- 新潟県介護支援専門員協会 理事会
- JAバンク新潟県信連ホームヘルパー支援基金運営委員会
- ささえあいあわやま 運営推進委員会

力 介護福祉士等の専門性を確立させるための事業

例年介護職員等の専門性の向上、後継者の育成、介護福祉人材のスキルアップを目的として、多様の研修を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために多くの研修を中止した。こうしたコロナ禍の中で介護職員を対象とした喀痰吸引等研修（第3号研修）など継続実施したものもあった。また、初めて新潟県喀痰吸引等指導者養成事業を受託し、介護職員を指導する看護師等の養成事業も行った。実習指導者研修会は1回目を中止し2回目を開催した。

○介護福祉士現任研修

下記の6つの現任研修を予定し周知を図っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

- テーマ 介護職が働きがいを持てる働き方改革について（5月30日開催予定）
- テーマ 認知症の正しい理解～虐待防止～について（6月20日開催予定）
- テーマ 介護施設における生活支援のあり方について（7月4日開催予定）
- テーマ 認知症との共生ケアについて（8月28日開催予定）
- テーマ 介護施設における災害対策について（9月5日開催予定）
- テーマ 正しい日本語の伝え方について（10月24日開催予定）

○介護福祉士養成実習施設実習指導者研修

1開催日 第1回 令和2年6月23日～7月8日を予定したが中止した。

第2回 令和2年9月23日、24日、10月7日、8日は開催した。

2場 所 第2回 新潟ユニゾンプラザ
3内 容 制度改正に向けた、福祉施設における介護福祉士実習指導者養成及び指導受け入れ体制の強化を目指した必要な知識の習得
4講 師 実習指導者特別研修指導専任講師
5受講者数 第2回のみ 24名修了

○喀痰吸引等研修（第3号研修）

1開催日 第1回 令和2年9月12日、13日（全2日間）
第2回 令和2年10月3日、11日（全2日間）
2場所 第1回 上越市教育プラザ、第2回 新潟ユニゾンプラザ
3内容 痰の吸引等を行うことができる介護職員等を養成することを目的とし、講義・シミュレーター演習、現場演習を実施した。
4修了者数 第1回18名、 第2回54名

○新潟県喀痰吸引等指導者養成事業

1開催日 講義 令和2年10月31日（土）13：00～16：30
演習日 令和2年11月4日、5日、6日の3日間
2場所 新潟ユニゾンプラザ大会議室（講義）、介護実習室（演習3日間とも）
3内容 喀痰吸引等指導者講習を実施することにより喀痰吸引等研修の講師役として介護職員を指導する看護師等を養成するものである。
4修了者数 看護師24名

○介護福祉士基本研修

日本介護福祉士会の研修制度の下、カリキュラムに沿って予定し周知を図っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

○介護福祉士ファーストステップ研修

日本介護福祉士会の研修制度の下、カリキュラムに沿って予定し周知を図っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

○講師養成研修ステップ1

本会員の中での講師育成を図るために実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

○介護職種の技能実習指導員講習会（新潟会場）

介護職種の技能実習生の技能の習得が円滑に図られるよう、適切な実習体制を確保することを目的として、日本介護福祉士会が全国都道府県にて実施したものであり、昨年に引き

続き新潟県では当会が委託を受けて開催した。

1 開催日 令和2年12月13日（日）9：30～18：10

2 会場 新潟ユニゾンプラザ 中研修室

3 講師 宮崎則男会長・山田美恵理事・樋口美和子理事

4 参加者数 40名（会員11：非会員29（技能実習指導員及び受入団体担当者））

キ 介護福祉活動を通して社会に貢献するための事業

県民からの介護に関する悩みや相談に応じて、介護従事の負担軽減を図ることを目的とし、介護についての相談・問題をホームページや電話にて相談対応を実施した。今後はメールでの相談対応や、zoomアプリを用いてのオンライン相談を図って行く予定である。

新しい事業として新潟市から委託を受けて「認知症サポーターキャラバン事業事務局」を4月から実施した。従来、新潟市各区が実施していた「認知症サポーター養成講座」等の開催や申込、受付、実施報告等の事務作業を当会が新潟市と連携しながら行うものである。事務連絡等ではキャラバンメイトや地域包括支援センター、新潟県、新潟市とのネットワーク構築を図っていくことが重要となっている。介護の中での「認知症」を理解し、認知症の人や家族を見守り、手助けをする「認知症サポーター」を養成し、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりをサポートするというコンセプトの上で積極的に情報提供を行っていく。コロナ禍の中でも105件の講座が開催された。

○認知症サポーターキャラバン事業事務局（認知症サポーター養成講座実施について）

1 開催件数 105件（令和3年3月）

2 場所 新潟市内各地区

3 講師 キャラバンメイト

○介護についての相談窓口事業

①実施期間 土・祝祭日を除く通年

②対応時間 8：30～17：30

③場所 新潟ユニゾンプラザ3階 本会事務局（電話相談・メール等）

④内容 介護職や介護についての相談お困りごとについての相談対応

⑤対応者 正・副会長

⑥相談件数 3件

○各ブロックでの介護に関する研修事業

本会は新潟県を4つのブロック（上越・中越・下越・佐渡）に分けて、地域密着型のミニ研修を例年数多く実施してきたが、本年はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、いずれの研修も開催できなかった。

法人事業執行状況

日本介護福祉士会と連動した組織拡大や体制強化に向けた事業

○会員組織拡大に向けた事業

組織拡大に向けた普及啓発事業（新規会員数増大に向けて）

4月県内介護福祉士養成施設入学式への臨席は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て臨席中止となった。

○会務の運営状況

1 定時総会

1開催日 令和2年6月13日（土）13：30～14：30

2会場 長岡介護福祉専門学校あゆみ4階 大会議室

3出席者数 720名（当日参加10名・委任710名）

4議案 第1号 令和元年度事業活動報告及び決算報告について

5報告 第1号 令和2年度事業計画及び収支予算書について
資金調達及び設備投資の見込について

2 理事会

第1回理事会（コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決）

1報告日 令和2年5月22日

2出席者数 理事22名、監事2名

3議案 第1号 令和元年度事業報告及び決算書について

第2号 正会員及び賛助会員入会承認の件

第3号 地域福祉ボランティア事業基金取り崩し承認について

第4号 新理事候補者推薦選出承認について

第2回理事会（コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決）

1報告日 令和2年11月4日

2出席者数 理事22名、監事2名

3議案 第1号 正会員及び賛助会員入会承認の件

第2号 役員改選選挙管理委員会設置承認の件

4報告事項 第1号 事業報告

第3回理事会（コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決）

1報告日 令和3年2月12日

2出席者数 理事22名、監事2名

3議案 第1号 正会員及び賛助会員入会承認の件

4 報告事項 第1号 事業報告

第4回理事会

1 報告日 令和3年3月13日

2 出席者数 理事14名、監事2名

3 議案 第1号 令和3年度事業計画案について

第2号 ・令和3年度収支予算書案承認について

・資金調達及び設備投資の見込案承認について

第3号 正会員及び賛助会員入会承認の件

4 報告事項 第1号 事業報告

3 正・副委員長会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年は対面会議を行なわずzoomアプリ等を用いてのオンライン会議を実施しており、約1ヶ月に1回ほどのペースで実施している。内部理事および各委員長・副委員長が構成メンバーとなっている。

第1回（オンライン会議）

1 開催日 令和2年4月3日（金）18：30～19：30

2 会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）

3 出席者数 5名（会長及び副会長）

4 議題 新型コロナウイルス対応について

ファーストステップ研修の予定について

コロナ禍での当会主催研修開催の有無について

第2回（オンライン会議）

1 開催日 令和2年4月17日（金）18：30～19：30

2 会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）

3 出席者数 5名（会長及び副会長）

4 議題 新型コロナウイルス対応について

定時総会・講演会対応について

各地区ブロック研修について

今後の各種の研修、講習会開催について

今後の事務局体制の対応について

第3回（オンライン会議）

1 開催日 令和2年5月9日（土）10：00～11：00

2 会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）

3出席者数 10名（会長・副会長・副委員長等）
4議題 実務者研修開催延期について
　福祉用具専門相談員講習会中止について
　今後のオンライン会議の在り方について
　オンラインの活用について
　定時総会の中止について
　認知症サポーターキャラバン事業について
　介護技術コンテストの開催について
　学校訪問出前講座について
　実習指導者研修について

第4回（オンライン会議）

1開催日 令和2年5月22日（金）18：30～19：30
2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
3出席者数 10名（会長・副会長・副委員長等）
4議題 実務者研修開催新日程について
　実習指導者の研修講師について
　法人運営について
　9月以降の研修について
　感染症の研修について
　広報誌かけはし発行について
　サイボウズシステムの今後の活用方法について

第5回（オンライン会議）

1開催日 令和2年6月5日（金）18：30～19：30
2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
3出席者数 4名（会長・副会長・副委員長等）
4議題 定時総会の開催確認について
　当会フェイスブックについて
　VR職場体験動画の協力依頼について

第6回（オンライン会議）

1開催日 令和2年6月19日（金）18：30～19：30
2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
3出席者数 7名（会長・副会長・副委員長等）
4議題 かけはし作成（内容）について
　内部理事によるオンライン研修案について

その他委託事業の状況について
ホームページの修正について

第7回（オンライン会議）

- 1開催日 令和2年8月5日（水）18：30～19：30
- 2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
- 3出席者数 3名（会長・副会長・等）
- 4議題 8/8運営委員会開催について確認

第8回（オンライン会議）

- 1開催日 令和2年8月31日（月）18：30～19：30
- 2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
- 3出席者数 5名（会長・副会長等）
- 4議題 介護の日県民のつどい参加コーナーについて
介護に関する入門的研修について
オンラインでの介護相談コーナー設置について

第9回（オンライン会議）

- 1開催日 令和2年10月5日（月）18：30～19：30
- 2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
- 3出席者数 7名（会長・副会長等）
- 4議題 次年度研修計画について
感染症研修について
役員等への講師謝金支払いについて
介護に関する入門的研修について
オンラインでの介護相談コーナー設置について
新潟市委託事業について

4 運営委員会（各ブロック運営委員）

従来の県内各地の運営委員を構成メンバーとしており、50名ほどが定数となっている。当会の運営協力メンバーとなっている。従来は2ヶ月に1回、会議を実施しているが、本年はコロナ禍の中で集合できずオンライン会議での参加をお願いした。

第1回（オンライン会議）

- 1開催日 令和2年7月11日（土）10：00～12：00
- 2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
- 3出席者数 23名（会長・副会長・他運営委員）
- 4議題 令和3年度の役員改選について

介護技術コンテスト・介護の日県民の集い参加について
介護職種の技能実習指導員講習について
新型コロナウイルスのガイドライン作成について
感染症研修について
新型コロナウイルスのアンケートについて
会報誌かけはしについて
今年度の講師料等について
事務局職員及び体制について
ホームページ、フェイスブックについて
今後の会議の在り方について
日本介護福祉士会主催事業について

第2回（オンライン会議）

1開催日 令和2年8月8日（土）10：00～12：00
2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
3出席者数 19名（会長・副会長・他運営委員）
4議題 令和3年度の役員改選について
新型コロナウイルスのガイドライン作成について
感染症研修について
各ブロックでのオンライン会議について

第3回（オンライン会議）

1開催日 令和2年9月12日（土）10：00～12：00
2会場 新潟ユニゾンプラザ3階事務局（ホスト）
3出席者数 20名（会長・副会長・他運営委員）
4議題 令和3年度の役員改選について
選挙管理委員会委員選出のお知らせ
新型コロナウイルスのガイドライン作成について
感染症研修について
介護に関する入門的研修実施について
介護相談ルーム開設について
日本介護福祉士会主催事業について

第4回（オンライン・面談会議）

1開催日 令和2年10月10日（土）10：00～12：00
2会場 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室（ホスト）
3出席者数 18名（会長・副会長・他運営委員）

4議 題 介護の日県民の集い参加について
介護相談ルーム開設報告について
今年度後期の研修計画について
次年度研修計画について
感染症研修について
介護に関する入門的研修進捗状況について
新潟県喀痰吸引等指導者講習事業スタッフについて
日本介護福祉士会主催事業について

第5回（オンライン・面談会議）

1開催日 令和3年2月20日（土）13：30～16：00
2会場 新潟ユニゾンプラザ5階 特別会議室（ホスト）
3出席者数 17名（会長・副会長・他運営委員）
4議題 次年度内部理事候補者について
次年度運営委員会メンバーについて
次年度事業計画について
定時総会について
感染症研修について
日本介護福祉士会主催事業について
今後の年会費について

○公益社団法人日本介護福祉士会会議及び事業（オンライン会議 宮崎会長参加）

- ・第1回常任理事会 令和2年7月7日 開催
- ・第2回常任理事会 令和2年8月11日 開催
- ・第3回常任理事会 令和2年9月7日 開催
- ・第4回常任理事会 令和2年9月28日 開催
- ・第1回全国都道府県会長会議 令和2年10月15日 開催

事業報告の附属明細書

事業報告を補足する事項はない。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

公益社団法人新潟県介護福祉士会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,453,735	18,380,704	△ 2,926,969
未収金	10,826,027	4,866,054	5,959,973
前払金	0	686,283	△ 686,283
立替金	0	22,794	△ 22,794
仮払金	0	50,000	△ 50,000
流動資産合計	26,279,762	24,005,835	2,273,927
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
ボランティア活動積立金	4,774,429	4,774,383	46
特定資産合計	4,774,429	4,774,383	46
固定資産合計	4,774,429	4,774,383	46
資産合計	31,054,191	28,780,218	2,273,973
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,556,720	756,615	1,800,105
前受金	533,000	430,000	103,000
預り金	563,339	443,367	119,972
仮受金	115,456	0	115,456
流動負債合計	3,768,515	1,629,982	2,138,533
負債合計	3,768,515	1,629,982	2,138,533
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	27,285,676	27,150,236	135,440
一般正味財産合計	27,285,676	27,150,236	135,440
正味財産合計	27,285,676	27,150,236	135,440
負債及び正味財産合計	31,054,191	28,780,218	2,273,973

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益社団法人新潟県介護福祉士会

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,498,000	4,692,000	△ 194,000
正会員会費収益	4,158,000	4,362,000	△ 204,000
継続会員会費	4,035,000	4,245,000	△ 210,000
初年度会員会費	123,000	117,000	6,000
賛助会員年会費	340,000	330,000	10,000
事業収益	27,609,554	41,448,484	△ 13,838,930
受取補助金等	682,168	856,152	△ 173,984
民間補助金収益	682,168	856,152	△ 173,984
雑収益	2,158,561	162	2,158,399
受取利息収益	145	162	△ 17
雑収益	2,158,416	0	2,158,416
経常収益計	34,948,283	46,996,798	△ 12,048,515
(2) 経常費用			
事業費	33,811,909	46,140,655	△ 12,328,746
給料手当	9,807,845	11,980,669	△ 2,172,824
旅費交通費	1,877,082	3,815,130	△ 1,938,048
通信運搬費	2,124,690	2,571,805	△ 447,115
事務消耗品費	795,437	760,044	35,393
印刷製本費	1,574,122	1,224,944	349,178
賃借料	3,876,058	3,983,444	△ 107,386
諸謝金	5,666,768	11,004,784	△ 5,338,016
会場設営費	33,330	4,607,468	△ 4,574,138
書籍買受費	1,088,036	960,201	127,835
雑費	328,755	485,340	△ 156,585
光熱水料費	203,500	303,039	△ 99,539
福利厚生費	1,651,327	1,624,965	26,362
租税公課	861,300	501,650	359,650
施設管理費	868,630	366,462	502,168
業務委託費	1,377,849	564,900	812,949
広告宣伝費	1,677,180	1,385,810	291,370
管理費	1,000,934	1,391,508	△ 390,574
給料手当	516,202	630,561	△ 114,359
福利厚生費	86,911	89,550	△ 2,639
旅費交通費	20,000	29,000	△ 9,000
通信運搬費	15,000	15,000	0
印刷製本費	15,000	19,900	△ 4,900
光熱水料費	10,710	15,950	△ 5,240
賃借料	30,000	45,000	△ 15,000
業務委託費	6,611	11,500	△ 4,889
会議費	111,705	387,295	△ 275,590
総会費	6,500	238,334	△ 231,834
理事会費	91,235	146,220	△ 54,985
その他会議費	13,970	2,741	11,229
施設管理費	4,033	6,480	△ 2,447
渉外費	167,460	119,772	47,688

雑費	17,302	21,500	△ 4,198
経常費用計	34,812,843	47,532,163	△ 12,719,320
評価損益等調整前当期経常増減額	135,440	△ 535,365	670,805
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	135,440	△ 535,365	670,805
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	135,440	△ 535,365	670,805
一般正味財産期首残高	27,150,236	27,685,601	△ 535,365
一般正味財産期末残高	27,285,676	27,150,236	135,440
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	27,285,676	27,150,236	135,440

正味財産増減計算書 内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益社団法人 新潟県介護福祉士会

科 目	共通	広報誌作成発行・ホームページ更新	公開講演会	学校訪問出前講座事業	介護福祉士国家試験対策筆記模擬試験	介護に関する入門的研修事業
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費	2,249,000	0	0	0	0	0
正会員会費収益	2,079,000	0	0	0	0	0
継続会員会費	2,017,500	0	0	0	0	0
初年度会員会費	61,500	0	0	0	0	0
賛助会員年会費	170,000	0	0	0	0	0
事業収益	0	88,950	15,000	5,784,544	374,000	4,521,650
受取補助金等	682,168	0	0	0	0	0
民間補助金収益	682,168	0	0	0	0	0
雑収益	2,158,561	0	0	0	0	0
受取利息収益	145	0	0	0	0	0
雑収益	2,158,416	0	0	0	0	0
経常収益計	5,089,729	88,950	15,000	5,784,544	374,000	4,521,650
(2) 経常費用						
事業費	0	2,677,442	19,155	5,784,544	610,460	4,521,650
給料手当	0	357,845	0	770,000	100,000	816,000
旅費交通費	0	38,420	6,800	581,474	0	163,560
通信運搬費	0	852,514	0	491,078	9,960	284,897
事務消耗品費	0	0	0	190,284	0	175,570
印刷製本費	0	139,725	0	701,978	0	156,750
貯借料	0	119,096	0	971,480	60,000	771,855
諸謝金	0	0	0	1,124,000	0	1,108,000
会場設営費	0	0	0	0	0	0
書籍買受費	0	0	0	0	0	328,700
雑費	0	129,826	12,355	0	0	16,494
光熱水料費	0	83,500	0	0	10,000	0
福利厚生費	0	127,327	0	0	127,000	0
租税公課	0	67,300	0	0	66,000	0
施設管理費	0	0	0	0	0	0
業務委託費	0	761,889	0	0	237,500	0
広告宣伝費	0	0	0	954,250	0	699,824
管理費	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0
貯借料	0	0	0	0	0	0
業務委託費	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0
総会費	0	0	0	0	0	0
理事会費	0	0	0	0	0	0
その他会議費	0	0	0	0	0	0
施設管理費	0	0	0	0	0	0
涉外費	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	2,677,442	19,155	5,784,544	610,460	4,521,650
評価損益等調整前当期経常増減額	5,089,729	△ 2,588,492	△ 4,155	0	△ 236,460	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	5,089,729	△ 2,588,492	△ 4,155	0	△ 236,460	0
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,089,729	△ 2,588,492	△ 4,155	0	△ 236,460	0
一般正味財産期首残高	60,107,526	△ 11,756,245	△ 6,498,516	△ 351,666	△ 1,009,459	△ 710,943
一般正味財産期末残高	65,197,255	△ 14,344,737	△ 6,502,671	△ 351,666	△ 1,245,919	△ 710,943
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部						
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	65,197,255	△ 14,344,737	△ 6,502,671	△ 351,666	△ 1,245,919	△ 710,943

公益目的事業會計

(単位：円)

小計	収益事業等会計		法人会計		内部取引控除	合計
	共通	小計	共通	小計		
2,249,000	0	0	2,249,000	2,249,000	0	4,498,000
2,079,000	0	0	2,079,000	2,079,000	0	4,158,000
2,017,500	0	0	2,017,500	2,017,500	0	4,035,000
61,500	0	0	61,500	61,500	0	123,000
170,000	0	0	170,000	170,000	0	340,000
27,609,554	0	0	0	0	0	27,609,554
682,168	0	0	0	0	0	682,168
682,168	0	0	0	0	0	682,168
2,158,561	0	0	0	0	0	2,158,561
145	0	0	0	0	0	145
2,158,416	0	0	0	0	0	2,158,416
32,699,283	0	0	2,249,000	2,249,000	0	34,948,283
33,811,909	0	0	0	0	0	33,811,909
9,807,845	0	0	0	0	0	9,807,845
1,877,082	0	0	0	0	0	1,877,082
2,124,690	0	0	0	0	0	2,124,690
795,437	0	0	0	0	0	795,437
1,574,122	0	0	0	0	0	1,574,122
3,876,058	0	0	0	0	0	3,876,058
5,666,768	0	0	0	0	0	5,666,768
33,330	0	0	0	0	0	33,330
1,088,036	0	0	0	0	0	1,088,036
328,755	0	0	0	0	0	328,755
203,500	0	0	0	0	0	203,500
1,651,327	0	0	0	0	0	1,651,327
861,300	0	0	0	0	0	861,300
868,630	0	0	0	0	0	868,630
1,377,849	0	0	0	0	0	1,377,849
1,677,180	0	0	0	0	0	1,677,180
0	0	0	1,000,934	1,000,934	0	1,000,934
0	0	0	516,202	516,202	0	516,202
0	0	0	86,911	86,911	0	86,911
0	0	0	20,000	20,000	0	20,000
0	0	0	15,000	15,000	0	15,000
0	0	0	15,000	15,000	0	15,000
0	0	0	10,710	10,710	0	10,710
0	0	0	30,000	30,000	0	30,000
0	0	0	6,611	6,611	0	6,611
0	0	0	111,705	111,705	0	111,705
0	0	0	6,500	6,500	0	6,500
0	0	0	91,235	91,235	0	91,235
0	0	0	13,970	13,970	0	13,970
0	0	0	4,033	4,033	0	4,033
0	0	0	167,460	167,460	0	167,460
0	0	0	17,302	17,302	0	17,302
33,811,909	0	0	1,000,934	1,000,934	0	34,812,843
△ 1,112,626	0	0	1,248,066	1,248,066	0	135,440
0	0	0	0	0	0	0
△ 1,112,626	0	0	1,248,066	1,248,066	0	135,440
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
△ 1,112,626	0	0	1,248,066	1,248,066	0	135,440
21,163,282	0	0	5,986,954	5,986,954	0	27,150,236
20,050,656	0	0	7,235,020	7,235,020	0	27,285,676
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
20,050,656	0	0	7,235,020	7,235,020	0	27,285,676

正味財産増減計算書の附属明細書

財務諸表に対する注記の2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため省略している。

財産目録

令和3年3月31日現在

公益社団法人新潟県介護福祉士会

(単位 : 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金 ゆうちょ銀行上越ブロック ゆうちょ銀行中越ブロック ゆうちょ銀行下越ブロック ゆうちょ銀行佐渡ブロック ゆうちょ銀行郵便振替口座 第四北越銀行／中央市場支店 第四北越銀行／県庁支店	運転資金として 公益目的事業にかかる未収金	15,453,735 582,762 895,663 3,011,479 344,440 5,636,863 500,000 4,482,528 10,826,027
	未収金			
流動資産合計				26,279,762
(固定資産)				
特定資産	ボランティア活動積立金	第四北越銀行／県庁支店		4,774,429
固定資産合計				4,774,429
資産合計				31,054,191
(流動負債)				
	未払金 前受金 年会費前受金 その他前受金 預り金 源泉所得税預り金 住民税預り金 社会保険料預り金 雇用保険料預り金 年会費預り金 仮受金		公益目的事業にかかる経費未払金 公益目的事業にかかる前受金 公益目的事業にかかる会費前受金 公益目的事業にかかる受講料等前受金 講師・職員等源泉税預かり分 職員住民税預かり分 職員社会保険料預かり分 職員雇用保険料預かり分 会員年会費 預かり分 公益目的事業にかかる仮受金	2,556,720 533,000 141,000 392,000 563,339 283,690 20,600 82,331 32,718 144,000 115,456
流動負債合計				3,768,515
負債合計				3,768,515
正味財産				27,285,676

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公認認定等委員会）を採用している。

(1) 消費税等の会計処理

税込処理による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
ボランティア活動積立金	4,774,383	46	0	4,774,429
小 計	4,774,383	46	0	4,774,429
合 計	4,774,383	46	0	4,774,429

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金 からの充当額)	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	-
特定資産					
ボランティア活動積立金	4,774,429	0	0	0	0
小 計	4,774,429	0	0	0	0
合 計	4,774,429	0	0	0	0

4.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
民間補助金	日本介護福祉士会	0	682,168	682,168	0	-
合 計		0	682,168	682,168	0	

監査報告書

公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男 殿

令和 3年 5月 7日

公益社団法人新潟県介護福祉士会

監事 神林 邦夫 
監事 飯茂 浩司 

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までにおける会計並びに業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿金額と一致し、当法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

第2号議案

役員改選における新理事及び新監事選任について

本会の現在役員は、本日において役員任期が満了となる。

それにあたり、新理事・新監事候補者を令和3年5月15日開催理事会にて推薦選定した。については、定款第25条第2号に基づき、次の者を新理事及び新監事とする選任の承諾を求める。

なお、役員任期は本日から令和5年6月に開催される定時総会日までの2年間である。

	理事候補者氏名（ふりがな）	現職等
1	井野端 司（いのはた つかさ）	新潟県老人福祉施設協議会 理事
2	折居 千恵子（おりい ちえこ）	新潟県栄養士会 会長
3	川合 千尋（かわい ちひろ）	新潟県医師会 副会長
4	広岡 優次（ひろおか ゆうじ）	新潟県手をつなぐ育成会 副理事長
5	佐々木 勝則（ささき かつのり）	新潟県介護支援専門員協会 会長
6	鶴巻 嶺二（つるまき れいじ）	新潟県老人クラブ連合会 評議員
7	等々力 務（とどりき つとむ）	認知症の人と家族の会新潟県支部 副代表
8	中川 泉（なかがわ いずみ）	常盤大学 教授 看護師
9	雪井 幸太郎（ゆきい こうたろう）	株式会社ライフデザイン 代表取締役
10	渡辺 陽一（わたなべ よういち）	新潟県社会福祉士会 副会長
11	秋山 武司（あきやま たけし）	新潟県介護福祉士会 副会長
12	磯部 陽介（いそべ ようすけ）	新潟県介護福祉士会 運営委員
13	大井 秀行（おおい ひでゆき）	新潟県介護福祉士会 副会長
14	大越 幸栄（おおこし ゆきえ）	新潟県介護福祉士会 理事
15	柴田 清孝（しばた きよたか）	新潟県介護福祉士会 運営委員
16	杉澤 暢美（すぎさわ のぶみ）	新潟県介護福祉士会 運営委員
17	高橋 詩子（たかはし うたこ）	新潟県介護福祉士会 運営委員
18	中村 和弘（なかむら かずひろ）	新潟県介護福祉士会 副会長
19	西本 円（にしもと まどか）	新潟県介護福祉士会 副会長
20	樋口 和磨（ひぐち かずま）	新潟県介護福祉士会 理事
21	樋口 美和子（ひぐち みわこ）	新潟県介護福祉士会 理事
22	山田 美恵（やまだ みえ）	新潟県介護福祉士会 理事
	監事候補者氏名（ふりがな）	現職等
1	神林 輝夫（かんばやし てるお）	神林輝夫税理士事務所 税理士
2	倉茂 浩司（くらしげ こうじ）	新潟県介護福祉士会 監事

(予定候補者 会員理事・招聘理事 50字音順にて記載)

令和3年 6月 6日提出
公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

第3号議案

会費に関する規則の改正について

このたび、本会正会員の「会費に関する規則」について、会計処理上適切な取扱規則に改正することを目的として、令和3年5月15日開催理事会にて改正案が承認された。

については、理事会で承認された「会費に関する規則」を定款25条第4号に基づいて定期総会においても承認決議を求めるものである。

○ (改正される規則は次葉参照)

令和3年 6月 6日提出
公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

公益社団法人新潟県介護福祉士会 会費に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、公益社団法人新潟県介護福祉士会（以下「本会」という。）定款（以下「定款」という。）第8条の規定に基づき、本会の入会金ならびに会費の取扱いについて基本的事項を定めることを目的とする。なお、正会員になる者は、本会「正会員の入会に関する規則第2条」に基づき、本会と公益社団法人日本介護福祉士会（以下「日本介護福祉士会」という）への同時入会となるため、合算した入会金および年会費を納めなければならない。

(正会員の入会金及び会費)

第2条 本会の正会員の入会金及び年会費は、次のとおりとする。
入会金 0円 年会費 3,000円

2 日本介護福祉士会の入会金及び年会費は、次のとおりとする。
入会金 5,000円 年会費 3,000円

(賛助会員の会費)

第3条 本会の定款第8条第2項に規定する賛助会費は、次のとおりとし年間1口以上の賛助会費を必要とするものとする。
個人 10,000円 団体 30,000円

(委任)

第4条 ここに定めるもののほか、本会の会費等に関する必要な事項は、理事会において別に定める。

(改廃)

第5条 この規則の改廃は、総会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この規則は、本会設立許可のあった日から施行する。
- 2 平成22年3月20日 一部改正。
- 3 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 4 この規則は、令和3年6月6日から施行する。**

第1号報告

令和3年度事業計画及び収支予算書について

令和3年度事業計画及び収支予算書を次のとおり作成し、令和3年3月日に開催された令和2年度第4回理事会において承認されたので、定款第45条第1項に基づいて報告する。

- (1) 令和3年度事業計画
- (2) 令和3年度収支予算書
- (3) 資金調達及び設備投資の見込み

令和3年 6月 6日提出
公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

公益社団法人新潟県介護福祉士会
令和3年度 事業計画
(令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日まで)

事業方針

令和2年度は、「ウィズ・コロナ」という未曾有の難局に直面し、事業自体は円滑に進めることができなかった。しかし、コロナ禍のなか、オンライン会議を通じて社会に対する責任を如何に果たしていくべきかに向き合うことができた1年間であった。

令和3年度は、今までの議論をもとに、介護福祉士の専門性の明確化や介護サービスの質の更なる向上に取り組みつつ、職能団体としての基盤整備を進めていく。

また、介護現場における中核的役割を担う介護福祉士の活躍を後押しできる研鑽の場、研究の場を創造し、私たち介護福祉士が、生涯にわたって意欲と責任を持って行動できる環境を目指し、以下の取り組みを事業方針として諸事業を展開していく。

1. 本会は、介護福祉ニーズを有する人々が、住み慣れた地域において、安心して暮らし続けることに応える活動を、日本介護福祉士会倫理綱領及び倫理基準に則して実施する。
2. 公益社団法人の理念に基づき、県民の福祉の向上に寄与するため、より公益性の高い法人組織を構築し、組織運営の「見える化」を推進する。
3. 各ブロックが新規会員入会目標数を掲げ、会員拡大及び世代別に組織強化を図り、また、会員の自主活動を支援し会員活動の活性化を図る。
4. 介護・福祉の就労を支援するための研修の開催及び介護職員実務者研修、介護に関する入門的研修事業を開催し福祉従事者の確保を図り、また、映像コンテンツ活用など、コロナ禍の状況でも対応できる研修体制を構築する。
5. 生涯研修制度に基づいた研修を実施し、参加を促進する。研修会を通じて介護福祉士の質の向上を図り、福祉・介護サービスに関わる諸問題について理解を深めることを目指す。また、認定介護福祉士養成研修の開催に向けての検討を進める。
6. 地域における住民相互の支え合い助け合いの重要性と、県民への幅広い「介護」の普及啓発の場として「介護の日県民のつどい」を開催し、また、介護の魅力イメージアップ戦略として、小学校、中学校、高等学校に介護の魅力を伝える「出前講座」も通年開催する。

事業内容

ア 介護福祉の向上のための調査研究事業

介護福祉の専門職としての資質向上及び福祉サービスの質の向上を目指した調査研究、事例発表や実践報告を行い専門性の向上を目指さし、調査研究・事例発表・報告されたものはホームページ・広報誌等で案内し、日本介護学会、日本介護福祉士会全国大会、関東・甲信越ブロック研修会などへの発表を目指さす。

1 介護福祉に関する調査・実践研究報告

- 1 時期 令和4年3月（実践報告会等を開催予定）
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 内容 県内の介護事業所において、事例テーマを基に研究事例を公開し発表する。
- 4 対象 参加を希望する介護従事者

イ 介護福祉に関する情報を県民に提供する為の事業

コロナ禍の状況ではありますが、委託事業である介護技術コンテストを本年も開催する予定である。新潟県との協議後に正式決定されるが、早めに確定できればと考えている。（現在、新潟県は実施する方向で検討中）

その場合、新潟県・新潟県社会福祉協議会と共に「介護の日県民のつどい」も開催します。広報誌「かけはし」も年2回予定で発行予定。内容等を各委員会中心で検討したいと思います。ホームページも定期及び随時更新し、当会の事業活動の案内を発信します。また、介護福祉啓発のための公開講演会等もコロナ禍の状況を見ながら実施したい。

1 新潟県介護技術コンテスト（新潟県委託事業）

- 1 時期 令和3年11月予定
- 2 場所 新潟市 朱鷺メッセウェブマーケット
- 3 内容 新潟県介護技術コンテストと銘打ち、県内より参加チームを募り、審査基準を設けての介護技術を競うものである。
- 4 対象 県内の介護従事者

2 学校訪問出前講座事業（新潟県委託事業）

子供たちに介護への理解を深めることを目的として、県内各地の学校に出前講座という形で赴き、「介護の仕事の楽しさ、深さ、広さを啓発授業のスタイルで講義演習を行う。

- 1 時期 5月から翌年2月
- 2 場所 希望される県内小・中・高等学校等
- 3 対象 小・中・高校生および一般県民
- 4 講師 会員講師

3 「介護の日 県民のつどい」（実施予定）

- 1 時期 令和3年11月予定
 - 2 場所 新潟市 朱鷺メッセウェブマーケット
 - 3 内容 11月11日は「介護の日」であるため、制定日を記念としたイベントを実施する。県民に幅広く啓発活動を実施する。
 - 4 対象 一般県民及び介護従事者
-
- 4 広報誌「かけはし」の作成発行
 - 1 発行時期 年2回を予定（8月・2月）
 - 2 内容 当会の事業活動をテーマにした情報提供や会員相互間の交流、研修の案内に関するなどを掲載する。
 - 3 対象 会員および県内介護事業所等

 - 5 ホームページによる広報活動

通年公開し、今後も多様な事業案内や報告、会員相互の交流の場としての情報発信源となることを目指す。また、各種新規情報の掲載における更新作業は広報担当者と隨時協議・連絡し実施していく。SNSを活用した広報活動についても継続実施する

 - 1 公開期間 24時間対応

 - 6 介護実践報告会による介護福祉啓発
 - 1 時期 令和4年3月（予定）
 - 2 場所 新潟ユニゾンプラザ
 - 3 内容 介護福祉の専門職としての資質向上及び福祉サービスの質の向上を目指した研究及び実践事例報告を発表し介護福祉の啓発に努める。

 - 7 公開講演会による介護福祉啓発
 - 1 時期 令和3年6月6日（日）オンラインでの開催を予定
 - 2 場所 新潟ユニゾンプラザ
 - 3 講師 日本介護福祉士会会長 及川ゆりこ
 - 4 対象 会員および介護従事者、一般県民

ウ 介護従事者等のための相談及び研修事業

介護福祉士や介護職員を目指す後継者の育成及び県民への幅広い啓発活動を目的として、国家試験対策用の実務者研修や筆記模擬試験等、関連した事業を実施する。また各種関係機関が主催する初任者研修等の研修会・講習会等に対する講師派遣など。本年もキャリア形成訪問支援事業も継続して実施する。加えて、「介護に関する入門的研修」事業を一般県民を対象に継続実施する。

- 1 介護福祉士国家試験対策 筆記模擬試験（日本介護福祉士会主催）

- 1 時 期 令和3年12月 予定
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ（自宅受験で予定）
- 3 対 象 令和3年度国家試験受験予定者
- 4 定 員 100名

2 介護福祉士実務者研修（通信課程）

- 1 時 期 令和3年5月15日から11月27日
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 内 容 介護福祉士受験資格取得に必須である実務研修であり、基本的な介護提供能力の習得を目指すものである。スクーリング日8日間
- 4 定 員 1コース 16名

3 福祉用具専門相談員指定講習会

法律において定められた科目及び福祉用具サービス計画の専門的知識を身につけ、的確なアドバイスができる福祉用具専門相談員の養成を目指す。今年度は年間3回実施を予定。

- 1 時 期 令和3年5月コース、9月コース、令和4年2月コースを予定
- 2 場 所 全室 新潟ユニゾンプラザ
- 3 定 員 1コース 定員24名を予定

4 他団体及び学校事業における介護職員初任者研修等への講師派遣

関係機関が主催する介護職員初任者研修事業等に対し講師派遣を行い、後継者育成、介護福祉の啓発に努める。

- 1 実施団体 新潟調理師専門学校他
- 2 協力機関 新潟県シルバー人材連合会、新潟県社会福祉協議会、各種学校及び大学等
- 3 場 所 実施団体等が指定する会場にて

5 キャリア形成訪問支援事業（新潟県補助金事業）

新潟県からは春先からの実施了解を得ており、コロナ禍の状況を見ながらではあるが実施する。

- 1 時 期 令和3年6月から令和4年2月（予定）
- 2 場 所 県内各地（派遣要請事業所にて実施）
- 3 内 容 介護技術等における各種講師派遣、介護職員の資質向上に向けた研修カリキュラムの実施
- 4 対 象 講師派遣を希望する県内各地の介護保険サービス事業所

6 介護に関する入門的研修事業（新潟県委託事業）

すでに本事業も新潟県から開催承諾があり継続実施する。実施時期については、コロナ禍の事と大雪を考えて早い時期に実施するよう調整する。

- 1 時 期 令和3年9月～10月（調整予定）

- 2 場 所 上越市・長岡市・佐渡市・新潟市（新潟市会場のみ2回実施予定）
- 3 定 員 各会場50名定員を予定
- 4 内 容 県内の4会場で、1コース21時間を4日間等で実施

エ 介護保険制度等をより充実させるための事業

福祉サービス第三者評価事業と地域密着型サービス外部評価の2つの事業を組み込んでいる。例年の形で実施を予定しており、申し込みがあれば実施する。今年度同様にコロナ禍の状況もあり多くの受審が見込めないところである。

1 福祉サービス第三者評価指定評価機関事業

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 福祉サービス事業所（高齢施設、障害施設）への評価及び所属する評価調査者の資質向上に向けた研修会の実施
- 3 対 象 県内福祉サービス事業所
所属する調査者研修は新潟県介護福祉士会会員
- 4 評価者数 41名

2 地域密着型サービス外部評価指定評価機関事業

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 グループホーム事業所への評価の実施及び所属する評価調査者の資質向上に向けた研修会の実施
- 3 対 象 県内のグループホーム事業所
所属する調査者研修は新潟県介護福祉士会会員
- 4 評価者数 48名

オ 介護福祉の援助を必要とする県民の生活と権利擁護に関する制度を充実させるための事業

県民の権利擁護に関する制度を充実させることを目的に、新潟県、新潟市、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会等の行政機関・福祉団体が開催する協議会、委員会等へ委員を派遣する。

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 各協議会、委員会等への委員派遣

カ 介護福祉士等の専門性を確立させるための事業

介護職員等の専門性の向上、後継者の育成、介護福祉人材のスキルアップを目的に、介護福祉士生涯学習制度の研修実施、その他、スキルアップのための多様の研修を実施する。会員・非会員のニーズ及び時宜に叶った多様な研修を計画実施し、より効果的で実践可能な内容に焦点を充てる。

介護福祉士養成施設実習指導者の養成研修を継続実施し、後継者育成における指導者の資質

向上に努め、福祉人材全体のレベルアップに向けて取り組む。また、地域包括ケアシステムが推進されるなか、介護職員が在宅サービス利用者に適切な医療的ケアが提供されるよう喀痰吸引等研修（第3号研修）も引き続き実施し、介護職員の専門性向上に寄与する。また、昨年、新潟県からの委託事業として実施した新潟県喀痰吸引等指導者講習（第一号、第二号研修指導者養成）事業も引き続き県と協力しながら実施する。

1 介護福祉士基本研修

日本介護福祉士会規定に基づき、新人介護福祉士に対して、定められたカリキュラムでの研修を実施する。

- 1 時 期 令和3年4月26日・27日、5月17日・18日（4日間）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ小研修室3
- 3 講 師 当会基本研修指定講師
- 4 内 容 規定カリキュラムに沿って実施
- 5 対 象 国家資格取得後、3年程度までの新任介護福祉士
- 6 定 員 30名

2 介護福祉士現任研修（現在実施を確定している日程等を掲載）

（1）初めてのzoom研修会

- 1 時 期 令和3年4月17日（土）
- 2 場 所 万代シティバスセンタービル4階
- 3 講 師 株式会社スタッフエース新潟店担当講師
- 4 定 員 午前・午後の部 各20名

（2）「認知症ひもときシートについて学ぼう」オンライン研修会

- 1 時 期 令和3年5月20日（木）
- 2 場 所 オンライン zoomcloud ミーティング
- 3 講 師 グループホームチューリップ苑 副施設長 新野 直紀 氏
- 4 定 員 30名

（3）「外国人技能実習生と共に学ぶ介護の仕事」オンライン研修会

- 1 時 期 令和3年7月13日（火）14：00から15：30
- 2 場 所 オンライン zoomcloud ミーティング
- 3 講 師 株式会社ふれあいの杜執行役員
新潟県介護福祉士会 理事 樋口 美和子 氏
- 4 内 容 インドネシアから介護職の技能実習生として来日されている方が、文化の違いにとまどいながらも、日々、現場で頑張られている奮闘ぶりをお伝えしながら、今後の技能実習生受け入れに対して、共に学んでいきます。
- 5 定 員 30名

(4) その他未定

(5) その他未定

3 介護福祉士ファーストステップ研修（開催予定）

- 1 時期 令和3年6月から 令和4年3月の間で開催予定
- 2 定員 18名
- 3 講師 会員担当講師
- 4 内容 日本介護福祉士会生涯学習制度におけるファーストステップ研修カリキュラムに沿って実施
- 5 対象 介護福祉士及び介護従事者

4 介護福祉士講師養成研修（開催予定）

- 1 時期 令和3年6月から令和4年3月の間で開催予定
- 2 定員 20名
- 3 講師 現在調整中
- 4 内容 講師としての心構え、研修カリキュラムの組み立て方、シラバス等の作成方法について、模擬授業の実施と評価について
- 5 対象 介護福祉士及び介護従事者

5 介護福祉士養成実習施設実習指導者研修会（開催予定）

制度改革に向けた福祉施設における介護福祉士実習指導者養成及び指導、受け入れ体制の強化を目指した必要な知識の習得

- 1 時期 年間2回実施予定
第1回 6月24日・25日、7月15日・16日
第2回 9月23日・24日、10月7日・8日
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ 中研修室他
- 3 定員 28名（各コース）
- 4 対象 介護福祉士国家資格取得後3年以上の実務経験を有する者

6 各ブロック研修事業（県内4ブロック）

県内4つの各ブロックにおいて実施予定

- 1 時期 通年
- 2 場所 県内各地の研修会場
- 3 内容 県内4つのブロックにおいて、一般県民、介護従事者を対象に介護福祉について、多様な実技研修、研修、講演会を不定期に開催する。少人数での開催を主としており、介護福祉に関する普及啓発を目的としている。また、同時に講師等を実践することで、介護の専門職としての質の向上を目指す。

4 対象 一般県民、介護従事者

7 喀痰吸引等研修（第3号）（新潟県委託事業）

- 1 時期 令和3年は年間3回を開催予定（調整中）
- 2 場所 新潟市で第1回・第3回を、第2回を上越市で実施予定
- 3 講師 喀痰吸引等研修担当講師（介護福祉士・社会福祉士・看護師）
- 4 内容 喀痰吸引等研修（第3号）の制度理解と看護師から実践指導
- 5 対象 介護福祉士及び介護従事者

8 新潟県喀痰吸引等指導者講習について（新潟県委託事業）

- 1 時期 令和3年6月から9月（調整中）
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 講師 喀痰吸引等指導講師（看護師 第一号、第二号研修指導者）
- 4 内容 施設内従事介護職員のために指導する看護師養成、喀痰吸引等研修（第一号、第二号）の制度理解と看護師からの実践指導
- 5 対象 県内関連団体所属看護師

9 外国人ための介護職種の技能実習指導員講習会（日本介護福祉士会委託事業）

- 1 時期 令和3年9月予定（調整中）
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 講師 当会技能実習指導員指定講師（養成研修修了者）
- 4 内容 介護職種の技能実習生の技能の習得が円滑に図られるよう、適切な実習体制を確保することを目的とした技能実習生受入れのための対応講義演習等
- 5 対象 介護福祉士、介護従事者、県内管理団体職員等

キ 介護福祉活動を通して社会に貢献するための事業

1 新潟市認知症サポーターキャラバン事業事務局（新潟市委託事業）

認知症サポーターキャラバン事業とは、認知症の人と家族への応援者である認知症サポートを全国で多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すことを目的としており、所定の研修を修了した「キャラバンメイト」が講師を務める。キャラバンメイトの多くは介護福祉士が務めており、新潟市においても当会会員が多数担っておられる。令和2年度4月から、その事業の委託を受けており地域社会への貢献事業として実施していく。

- 1 時期 通年
- 2 場所 新潟ユニゾンプラザ（事務局）
- 3 対象 地域住民、企業、職域団体、学校
- 4 内容 認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分ができる範囲で支援する「認知症サポーター」を養成するための講座開催に係る支援、事務、普及啓発

2 介護相談事業（オンライン等）

介護従事者、一般県民からの介護に関する悩みや相談に応じ、介護従事の負担軽減を図ることを目的とし、介護に関する相談や助言を行う。

1 時 期 通年

2 場 所 新潟ユニゾンプラザ（事務局内ホームページ）

3 内 容 介護・福祉・介護保険等に関する相談

4 対 象 介護従事者、一般県民

日本介護福祉士会と連動した組織拡大や体制強化に向けた事業

○会員組織拡大に向けた事業

組織拡大に向けた普及啓発事業（新規会員数増大に向けて）

1 実施時期 通年（毎月会員推移を集計し、運営委員会にて分析を行う）

2 内 容 介護福祉士養成施設卒業者へ向けた入会説明会の開催

○公益社団法人新潟県介護福祉士会会議

1 総会 定時総会 令和3年6月6日（日）

2 理事会 第1回理事会 令和3年5月15日（土）

第2回理事会 令和3年6月6日（日）臨時

第3回理事会 未定

第4回理事会 未定

3 運営委員会 第1回・第2回・第3回・第4回・第5回・第6回 日程未定

4 各専門委員会 運営委員会の開催と同日

5 正副会長会議 必要に応じて会長が招集し開催する。

6 ブロック長会議 必要に応じて会長が招集し開催する。

○公益社団法人日本介護福祉士会会議及び事業

1 総会 令和3年5月 東京都 会場調整中（代議員出席）

2 第28回全国大会及び第19回日本介護学会（会場、日程調整中）

3 その他日本介護福祉士会主催各種研修会 会場調整中

令和3年度 公益社団法人新潟県介護福祉士会 年間事業計画表（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ア-1 介護福祉についての調査・実践研究 → 実践報告会として実施												
イ-1 新潟技術センター研修会												
イ-2 学校訪問による出前講座 → 隨時受付												
イ-3 「介護の日」県民のつどい												
イ-4 広報誌「かけはし」の作成 発行												
イ-5 ホームページによる広報事業 → 随時更新												
イ-6 介護実践報告会												
イ-7 公開講演会												
ワ-1 介護福祉士国家試験対策 筆記模擬試験												
ワ-2 福祉用具専門相談員指定講習会												
ワ-3 他団体及び学校事業における初任者研修等への講師派遣												
ワ-4 キャリア形成訪問支援事業												
ワ-5 介護に関する入門的研修事業												
ワ-6 介護に関する第三者評議会 指定評議会機関事業 → 隨時受付												
エ-1 地域密着型サービス外部評価 指定評議会機関事業 → 隨時受付												
オ-1 健利施設講習会等・協議会・委員会等への委員派遣 → 隨時												
カ-1 介護福祉士基本研修	4/26・27	5/17・18										
カ-2(1) 介護福祉士現任研修 初めてのzoom研修	4/17											
カ-2(2) 介護福祉士現任研修 認知症ひもきシートについて学ぼう	5/20											
カ-2(3) 介護福祉士現任研修 技能実習生と共に学ぶ介護の仕事												
カ-2(4) 介護福祉士現任研修 未定												
カ-2(5) 介護福祉士現任研修 未定												
カ-3 介護福祉士ファーストステップ研修 (各領域)												
カ-4 介護福祉士講師養成研修												
カ-5 介護福祉士養成実習施設 実習指導者研修												
カ-6 各ブロック研修事業 → 県内4ブロックにおいて実施												
カ-7 喫茶吸引等研修(3号) → 3回 実施予定	6/27・28											
カ-8 新潟県略歴吸引等指導者講習												
カ-9 介護職種の技能実習生指導員講習会												
キ-1 新潟市認知症サポートキャラバン事業												
キ-2 介護相談事業(通年)												
組織-1 会員拡大に向けた普及啓発事業												
県介-1 定時総会	6/6											
県介-2 理事会	5/15											
県介-3 運営委員会												
県介-4 各専門委員会												
県介-5 正副会長会議												
県介-6 各ブロック長会議(必要時)												
日介-1 定時総会 → 東京都												
日介-2 全国大会及び介護福祉士会各研修会												
日介-3 その他日本介護福祉士会各研修会												

収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益社団法人新潟県介護福祉士会

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,500,000	4,950,000	△ 450,000
正会員会費収益	4,200,000	4,650,000	△ 450,000
継続会員会費	4,050,000	4,500,000	△ 450,000
初年度会員会費	150,000	150,000	0
賛助会員年会費	300,000	300,000	0
事業収益	44,642,620	48,862,000	△ 4,219,380
受取補助金等	800,000	800,000	0
民間補助金収益	800,000	800,000	0
雑収益	50,000	50,000	0
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	49,992,620	54,662,000	△ 4,669,380
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	47,812,620	52,232,000	△ 4,419,380
旅費交通費	11,109,500	11,120,000	△ 10,500
通信運搬費	4,222,000	5,742,500	△ 1,520,500
事務消耗品費	2,319,760	2,490,000	△ 170,240
印刷製本費	1,510,000	1,192,000	318,000
賃借料	4,730,000	4,840,000	△ 110,000
諸謝金	6,480,000	6,653,000	△ 173,000
会場設営費	10,098,000	13,647,000	△ 3,549,000
書籍買受費	798,000	1,190,000	△ 392,000
雑費	1,710,000	820,000	890,000
光熱水料費	273,360	517,500	△ 244,140
福利厚生費	30,000	90,000	△ 60,000
租税公課	1,880,000	1,930,000	△ 50,000
施設管理費	730,000	820,000	△ 90,000
業務委託費	792,000	0	792,000
広告宣伝費	500,000	550,000	△ 50,000
管理費	630,000	630,000	0
給料手当	2,180,000	2,430,000	△ 250,000
福利厚生費	850,000	1,000,000	△ 150,000
旅費交通費	80,000	80,000	0
通信運搬費	100,000	100,000	0
印刷製本費	15,000	15,000	0
光熱水料費	50,000	50,000	0
賃借料	12,500	12,500	0
業務委託費	50,000	50,000	0
会議費	7,500	7,500	0
総会費	740,000	840,000	△ 100,000
理事会費	400,000	500,000	△ 100,000
代議員費	300,000	300,000	0
運営委員会費	20,000	20,000	0
その他会議費	15,000	15,000	0
施設管理費	5,000	5,000	0
涉外費	15,000	15,000	0
雑費	250,000	250,000	0
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	49,992,620	54,662,000	△ 4,669,380
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			

(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	0	0	0

令和3年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> ありません
事業番号	借入先	金額	使途
なし	なし	なし	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> ありません
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
なし	なし	なし	

第2号報告

顧問職選任の報告について

本会顧問職は本日をもって任期が満了となる。

このたび、令和3年5月15日に開催した理事会において、次の4名を顧問職として選任することが承認されたので、本総会においても報告する。なお、任期は本日から令和5年6月に開催される定時総会までの2年間である。

氏名（ふりがな）	現職等
大塚 トシ子（おおつかとしこ）	新潟県介護福祉士会 顧問
岡田 史（おかだふみ）	新潟県介護福祉士会 顧問
前田 喜代子（まえだきよこ）	新潟県介護福祉士会 顧問
宮崎 則男（みやざきのりお）	新潟県介護福祉士会 会長

（予定候補者 50字音順にて記載）

令和3年 6月 6日提出
公益社団法人新潟県介護福祉士会
会長 宮崎 則男

